

## スキップフロアの入力方法

文書管理番号：1062-03

### Q. 質問

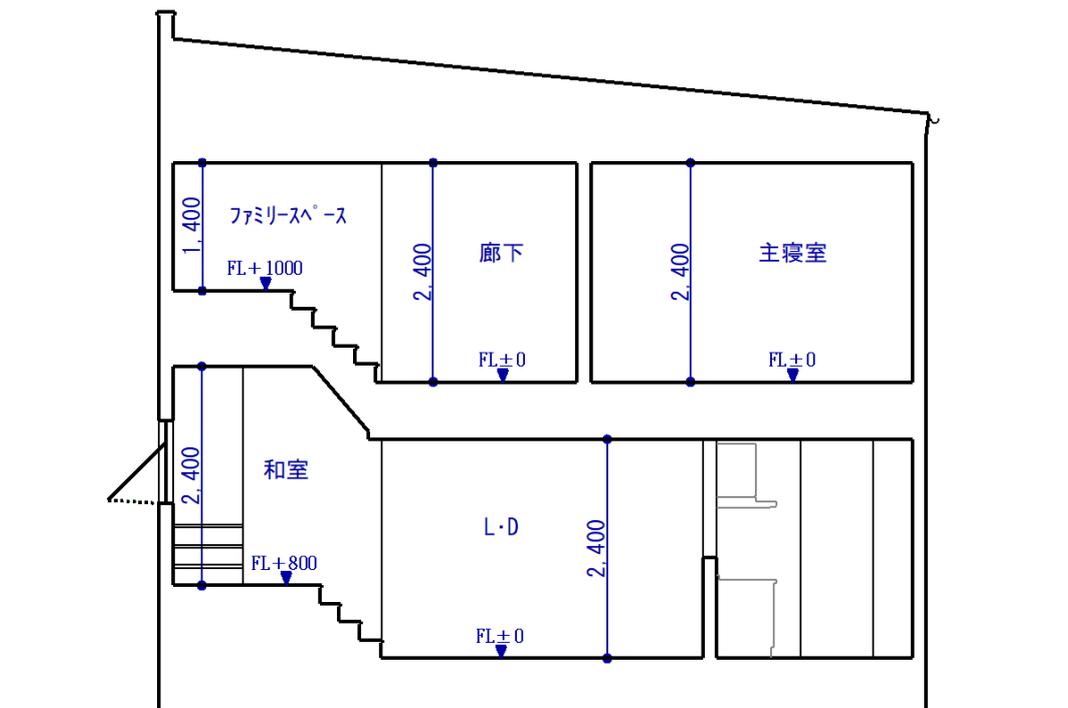
スキップフロアの物件を入力したい。

### A. 回答

スキップフロアの入力には、様々な方法があります。

基本的には、床の高さを変えて表現しますが、間取りによっても入力方法が変わります。

ここでは以下のようなスキップフロアの作成手順の一例を説明します。



### 作成のながれ

- ①プラン図で壁、部屋、建具、腰壁手摺の入力
- ②床高、天井高の変更
- ③階段の入力
- ④天井伏図の編集
- ⑤壁の修正

# 作成する間取り



1 階平面図



2 階平面図

## 作成手順① プラン図で壁、部屋、建具、腰壁手摺の入力

 (プラン図)で、P.2 の平面図の間取りを入力します。ここでは、基本的な入力手順は省略し、入力ポイントのみ説明します。

- \* 1階 FL から+800 の和室は1階に、2階 FL から+1000 のファミリースペースは2階に入力します。
- \* 腰壁の高さ、手摺の高さは P.2 の平面図を参考に設定してください。

### ● 腰壁手摺の入力方法

- ①  (壁)をクリックし、 (腰壁手摺)をクリック
  - \* 腰壁手摺 (室内用) の画面が表示されます。
- ② 手摺種類、手摺高さ、親柱間隔、立ち上がりの高さを設定
  - \* ここでは、手摺種類「ワイヤー手摺」、手摺高さ「600」mm、親柱間隔「910」mm、立ち上がり「100」mm に設定します。
- ③ 手摺を配置する位置で起点—終点を指示
  - \* ここでは、2階ファミリースペースの吹き抜けに面した部分と階段に面した部分の2か所に配置します。

### ● 2階の「階段 C」の部屋設定

2階の「階段 C」は、部屋名を「階段-最下階」とします。

階段の部屋名は3種類あり、3次元化時の床・天井面の自動生成処理が異なります。

階段-最下階：床面あり、天井面あり

階段-中間階：床面なし（下層階の天井面を抜く）、天井面なし

階段-最上階：床面なし（下層階の天井面を抜く）、天井面あり

### ● 腰壁の高さの変更方法

- ①  (要素選択)で配置済みの腰壁をクリック
  - \* 別の要素が選択された場合は、右クリックメニューの「次候補」をクリックまたは、キーボードの [Tab] キーを押して次要素に切り替え、腰壁を選択してください。
- ② 右クリックメニューから「高さ設定」をクリック
  - \* 壁高さ変更の画面が表示されます。
- ③ 腰壁の高さを設定
  - \* 床高が異なる部屋の間配置された腰壁の配置基準は、床高が高い部屋となります。

## 作成手順② 床高、天井高の変更

各部屋の床高・天井高は、下の数値に設定します。

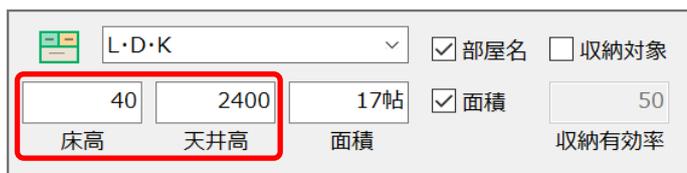
1 階	床高(mm)	天井高(mm)	2 階	床高(mm)	天井高(mm)
和室	840	2400	ファミリースペース	1040	1400
玄関	-170	2610	吹き抜け・階段 B	0	2440
上記以外の部屋	40	2400	階段 C	240	2200
			上記以外の部屋	40	2400

①  (クイックメニュー)またはメインメニューより  (プラン図)を起動

②  (要素選択)で区画内をクリック

\* 別の要素を選択しないよう、部屋の何も無いところでクリックします。

③ 右クリックし、部屋のスマートメニューから床高、天井高を変更



The image shows a smart menu for a room labeled 'L·D·K'. It contains several settings: '部屋名' (Room Name) checked, '収納対象' (Storage Target) unchecked, '面積' (Area) checked, and '収納有効率' (Storage Efficiency) set to 50. The '床高' (Floor Height) is set to 40 and '天井高' (Ceiling Height) is set to 2400. These two values are highlighted with a red box.

### ● 1 階和室の高さ

和室は、L・D・Kから床高を 800mm 上げます。

L・D・K 床高：40mm + 800mm = 和室床高：「840」mm と設定します。

### ● 2 階ファミリースペースの床高

ファミリースペースも同様に、廊下から床高を 1000mm 上げます。

廊下床高：40mm + 1000mm = ファミリースペース床高：「1040」mm と設定します。

### ● 階段 C の床高天井高

1 階の和室から見上げた際に、階段 C の床がとび出さないように、階段 C の床高を 200mm 上げます。

廊下床高：40mm + 200mm = 階段 C 床高：「240」mm と設定します。

天井は床が基準のため、廊下の天井と高さが揃うように、200mm 下げます。

廊下天井高：2400mm - 200mm = 階段 C 天井高：「2200」mm と設定します。

## 作成手順③ 階段の入力

### ● 階段 A・階段 C

同一階層内の床高の異なる部屋同士を繋ぐ階段を配置する方法です。

ここでは、 (プラン図)で階段 A を入力する方法を例に説明します。階段 C も同様の手順です。

(壁)で区画を作成し、 (部屋)で「階段(最下階)」を設定後の操作から説明します。

同一階層内の床高が異なる部屋同士を繋ぐ階段の配置方法について、詳しくはこちらもご覧ください。

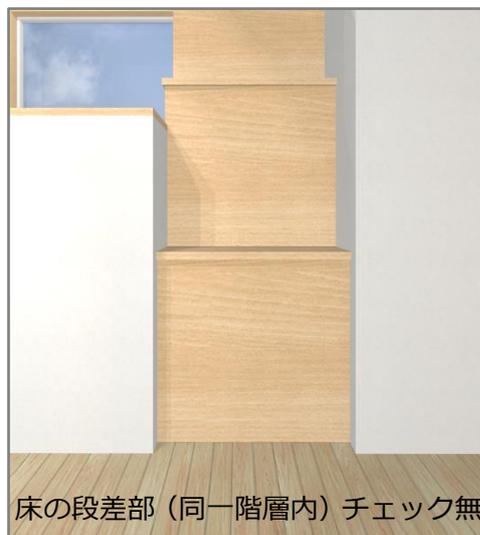
[\[1171\] 階段の高さ \(階段高\) を調整する方法](#)

- ① (階段)の (階段入力アシスト)をクリック
- ② 階段の区画内をクリックし、登り口の幅を起点—終点で指示
  - \* 内部階段入力の画面が表示されます。
- ③ 「床の段差部 (同一階層内)」にチェックを付け、階段を入力
  - \* 「床の段差部 (同一階層内)」にチェックを付けることで、同一階層内の部屋同士をつなぐ階段として、各種高さを取得し、階段高を計算します。
  - \* 階段 A は直階段「3」段で入力し、「壁付手摺」のチェックは外します。
  - \* 階段 C は直階段「4」段で入力し、「壁付手摺」のチェックは外します。
- ④ 「階段確定」をクリック
  - \* L・D・K と和室をつなぐ階段が配置されます。



### 【参考】

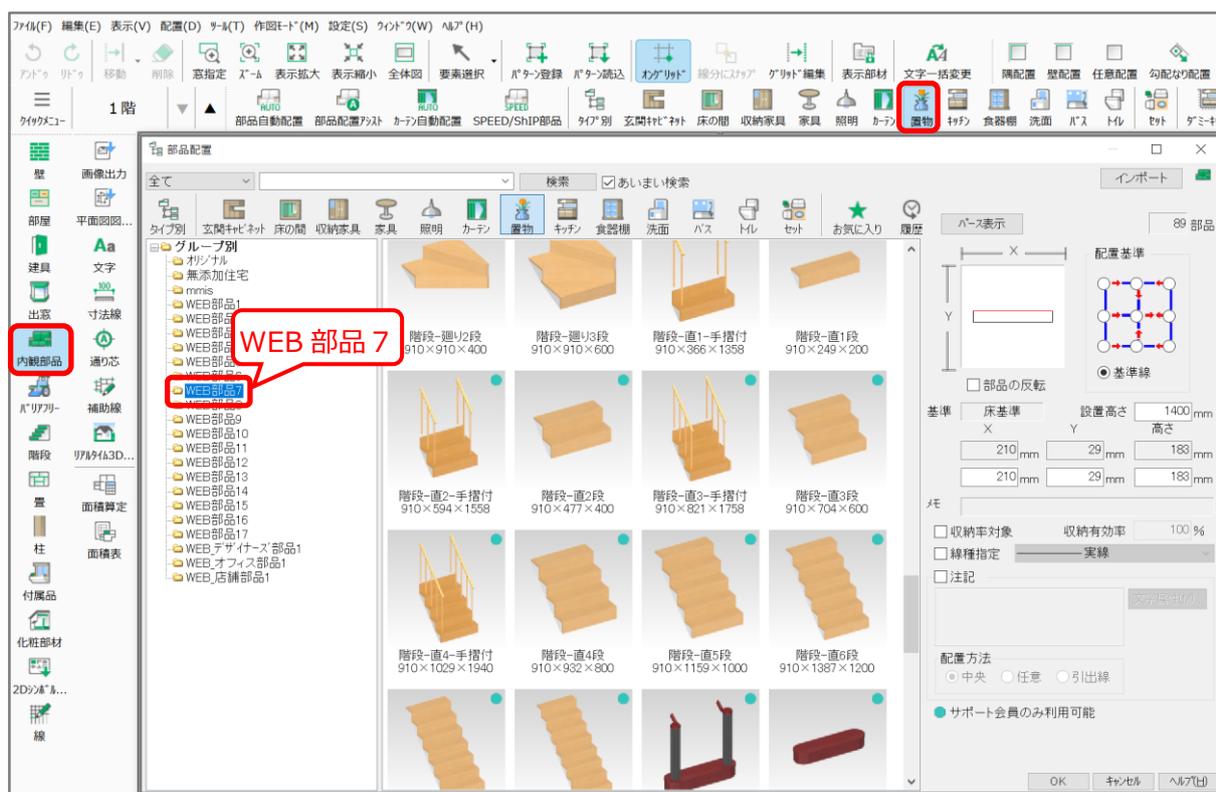
床の段差部（同一階層内）のチェックが無い場合、階段の高さは階高から計算するため、2 階までの階段が配置されてしまいます。



### 【参考】 部品で階段を配置

同一階層内の異なる床高の部屋同士をつなぐ、2 段や 3 段の低い階段を配置する場合は、

 (内観部品) ⇒  (置物) の「WEB 部品 7」にある階段を利用する方法があります。



## ● 階段を配置する方法【階段 B】

下階層から上階層へ上がる階段を配置する方法です。

(壁)で区画を作成し、 (部屋)で「階段(最下階)」を設定後の操作から説明します。

- ① (階段)の (階段入力アシスト)をクリック
- ② 階段の区画内をクリックし、登り口の幅を起点—終点で指示
  - \* 内部階段入力の画面が表示されます。
- ③ 「床の段差部 (同一階層内)」のチェックは外し、階段を入力
  - \* 「床の段差部 (同一階層内)」のチェックを外すことで、階段の高さは階高から計算し、2 階へつながる階段として配置されます。
  - \* かね折れ階段「3」段、直階段「6」段、「壁付手摺」のチェックは外します。
- ④ 「階段確定」をクリック
  - \* 和室と2階廊下をつなぐ階段が配置されます。

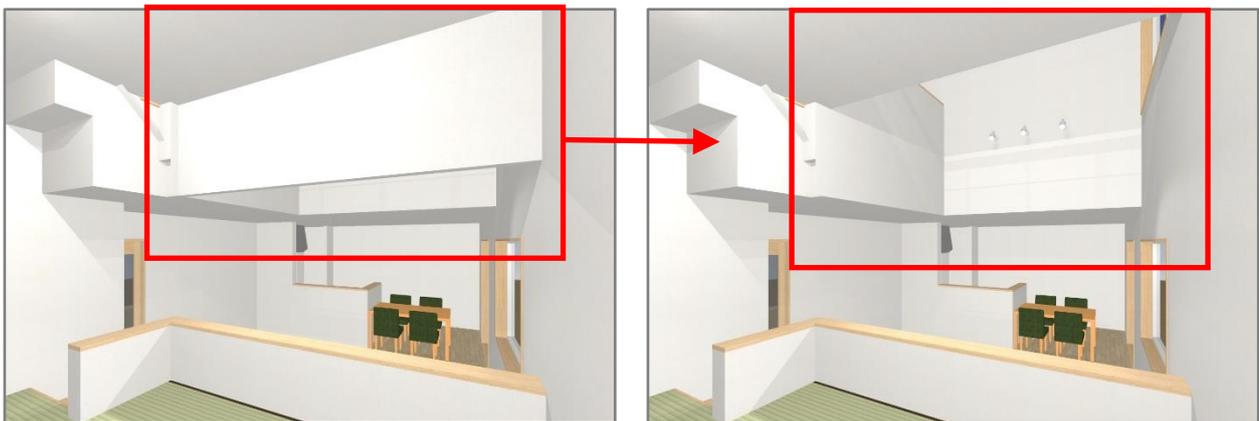


## 作成手順④ 天井伏図の編集

「天井の形状がおかしい」「天井が下に伸びている」「穴が開いている」「形状を変更したい」などの場合は、☰(クイックメニュー)またはメインメニューより📄(天井伏図)を起動し、天井面を編集します。

### ● 1階の天井の下がり部分の修正

和室とL・D・Kの間に、下り壁のように生成された天井を修正します。

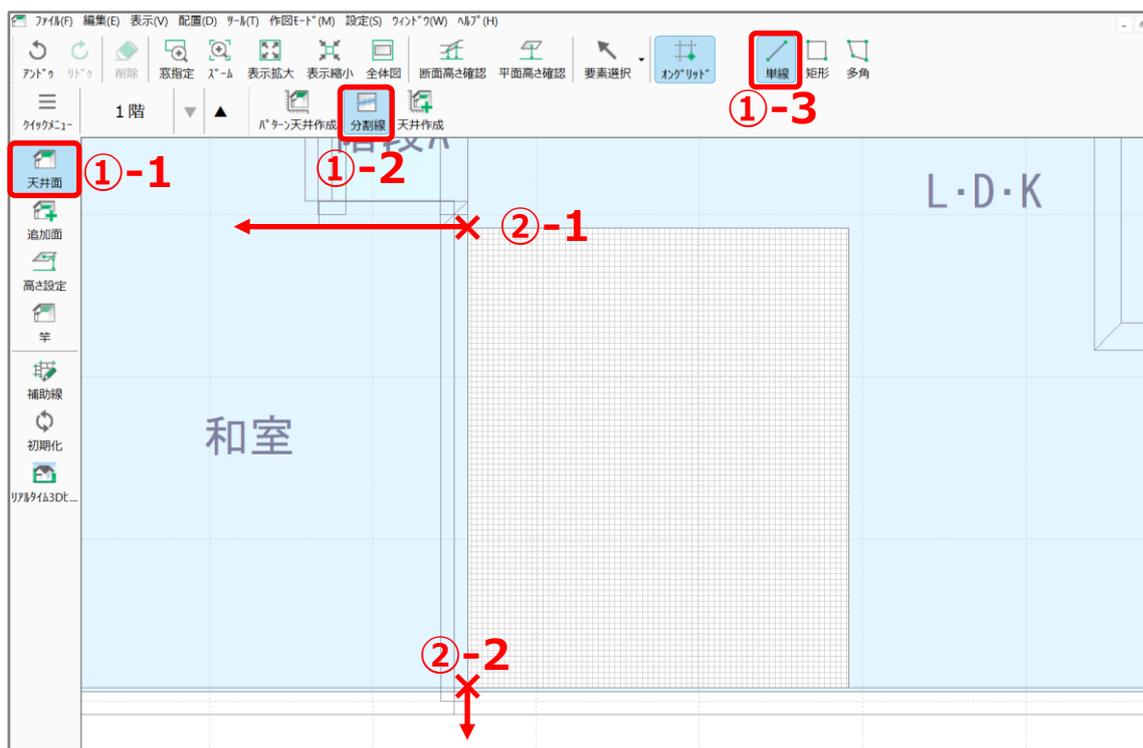


① 📄(天井面)の📏(分割線)をクリックし、📏(単線)をクリック

② 下図のように、2か所に分割線を入力

\* 高さを修正する部分だけを選択できるように分割します。

\* 分割線は、キーボードの[Shift]キーを押しながら、真っすぐに引きます。



- ③ (高さ設定)の (面指示)をクリックし、P.8 操作②で分割した面をクリック

\* 面指示の画面が表示されます。

- ④ 「3200」と入力し、「更新」をクリック

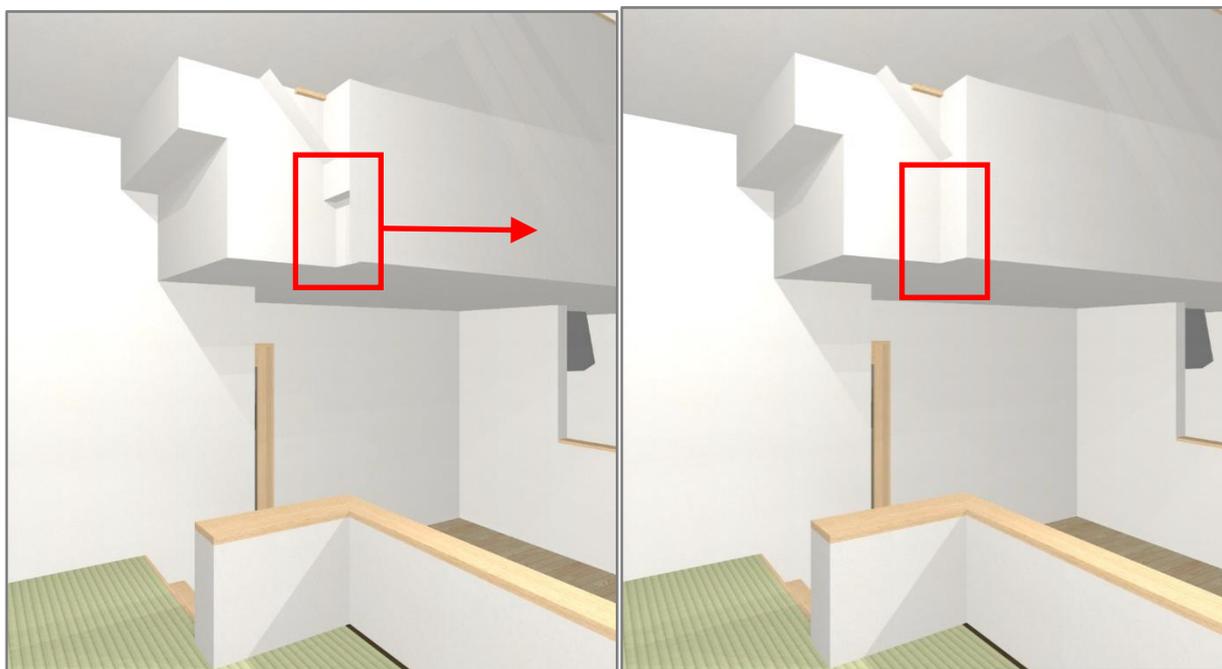
\* L・D・Kの床から、和室の天井までの高さを入力します。

L・D・Kの天井高：2400mm + 和室との床高の差 800mm = 「3200」mm となります。



### ● 1階の天井の凹み部分の修正

和室とL・D・Kの間の、一部天井が高い部分を修正します。



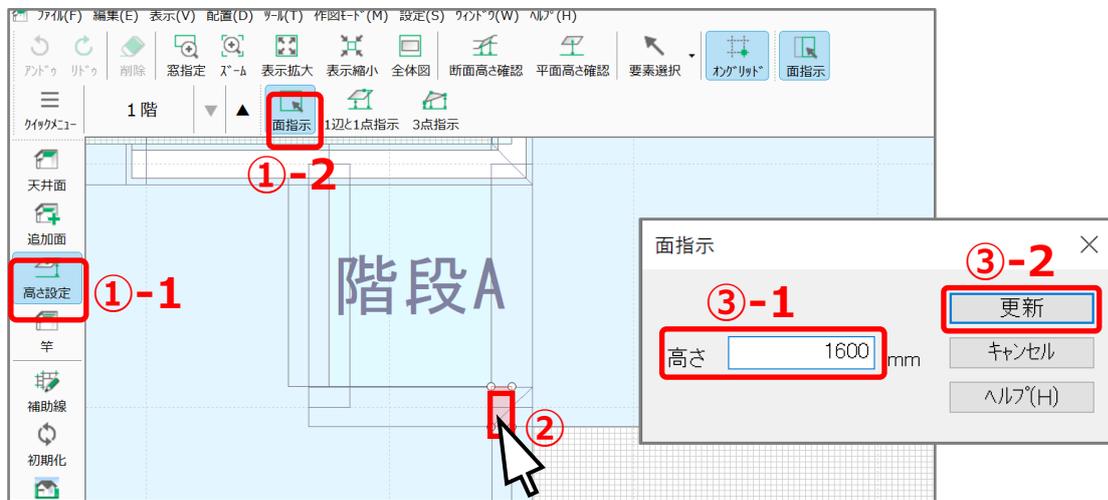
- ① (高さ設定)をクリックし、 (面指示)をクリック

- ② 高さを変更する天井面をクリック

\* 面指示の画面が表示されます。

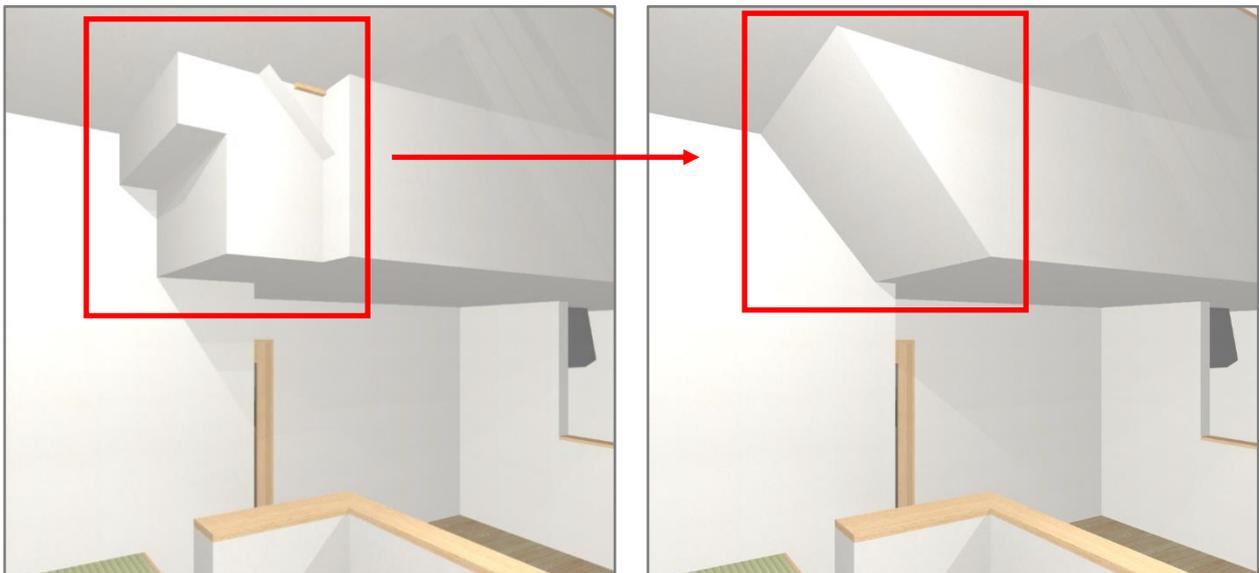
③ 高さを入力し「更新」をクリック

- \* 和室の床からの高さを入力します。ここでは、L・D・Kと同じ天井高(L・D・Kの床から2400mm)にするため、「1600」mm(L・D・Kの天井高:2400mm - 床高の差:800mm = 1600mm)に設定します。



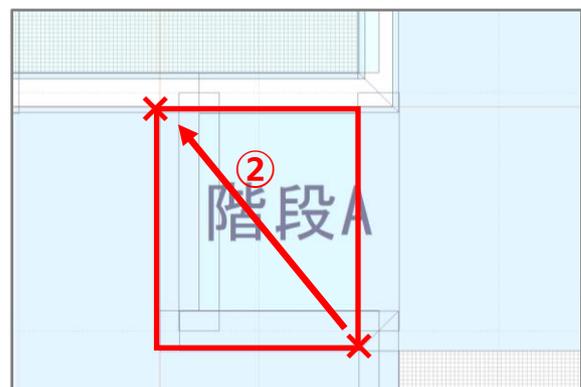
● 1階の天井の一部を斜めにする方法

L・D・Kから和室に上がる階段の上に、ファミリースペースに上がる階段があるため、天井面を斜めにします。



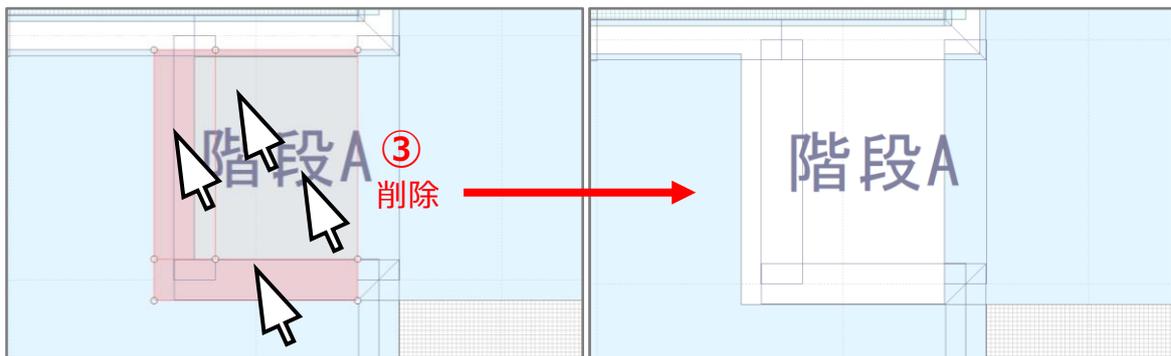
- ① (天井面)の (分割線)をクリックし、  
 (矩形)をクリック

- ② 天井面を斜めにする範囲を対角2点の矩形で分割



③ (要素選択)で分割した範囲内の天井面を選択し、削除

\* 範囲内の天井面をすべて削除します。



④ (天井面)をクリックし、 (天井作成)をクリック

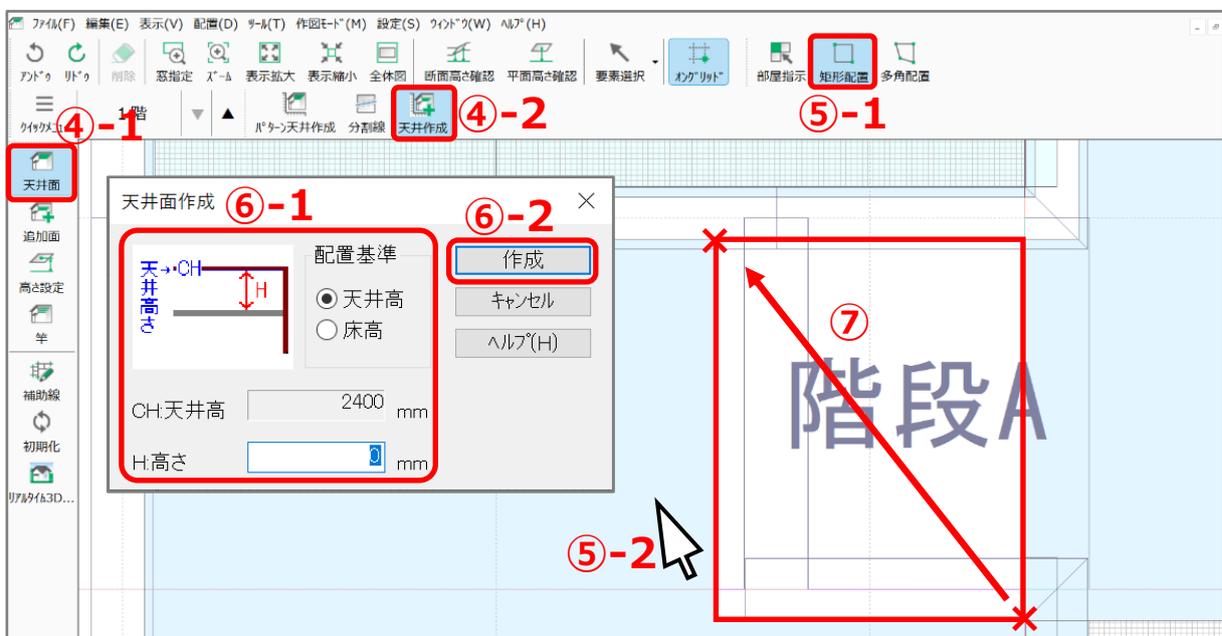
⑤ (矩形配置)をクリックし、和室の天井をクリック

\* 天井面作成の画面が表示されます。

⑥ 配置基準を「天井高」に設定後、H:高さに「0」を入力し「作成」をクリック

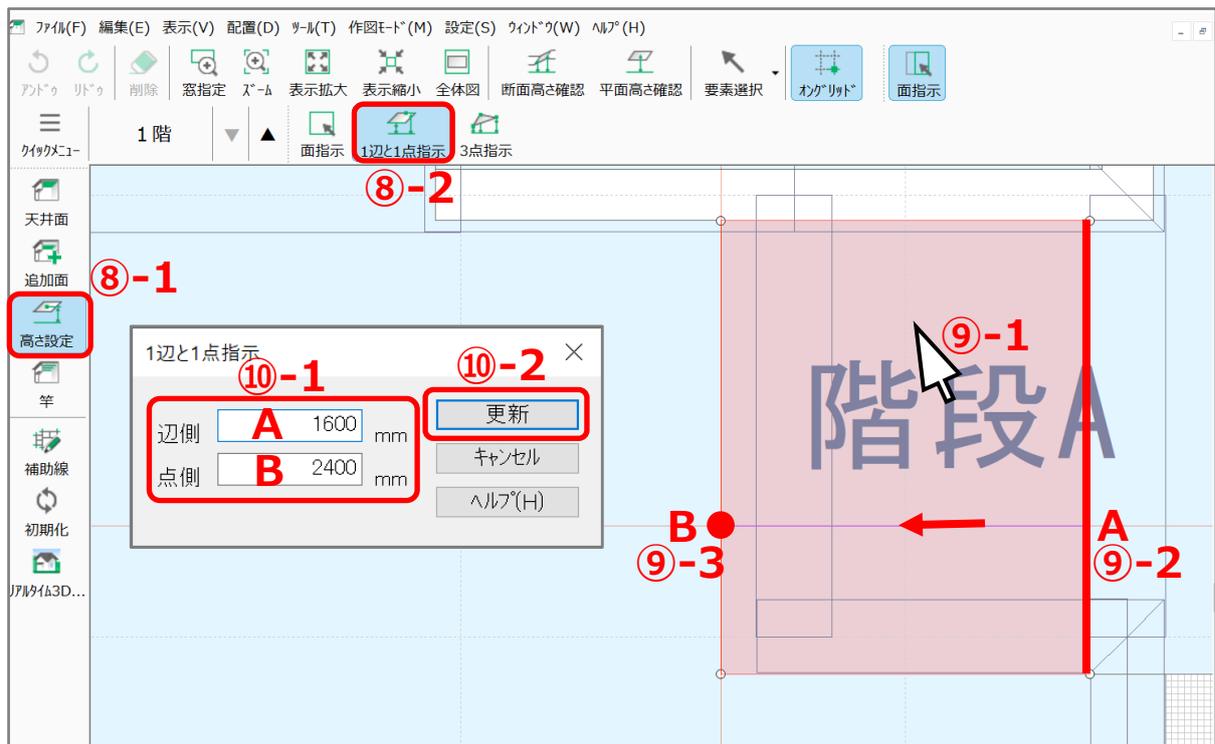
⑦ 天井面を作成する範囲を指示

\* 操作③で天井面を削除し、白抜きになった範囲を指示します。



\* 天井が配置されます。

- ⑧ (高さ設定)をクリックし、 (1辺と1点指示)をクリック
- ⑨ 操作⑦で作成した天井面をクリックし、天井が低い辺上(下図のA)と天井が高い辺上(下図のB)の順にクリック
- \* 1辺と1点指示の画面が表示されます。
- ⑩ 辺側に「1600」、点側に「2400」と入力し、「更新」をクリック
- \* 和室の床からの高さを入力します。
  - \* 天井が斜めになりました。



## 作成手順⑤ 壁の修正

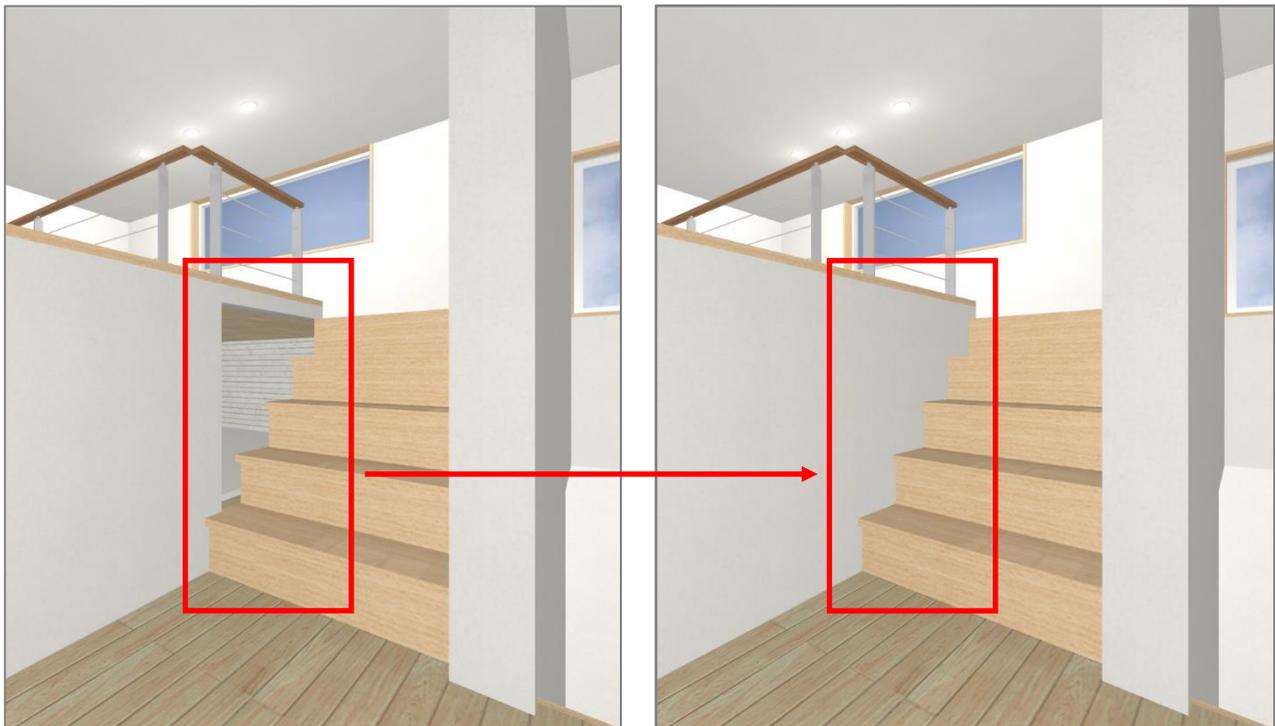
2階のファミリースペースと階段の間には腰壁手摺が配置されています。

手摺と共に全開口が配置されるため、ファミリースペースと階段の間には壁が生成されずに穴が空いています。

この穴を (3D パース) で「面拡張」を利用して修正します。

面拡張の利用方法については、こちらをご覧ください。

### [\[1251\] 面拡張の利用方法](#)



① (クイックメニュー) またはメインメニューから (3D パース) を起動

② 右クリックメニューの選択モード変更から「面」をクリック

- \* 選択モードが「面」になり、要素選択した際の選択範囲が変わります。



③ 穴の横の面をクリックし、右クリックメニューから「面拡張」をクリック

\* 面拡張の画面が表示されます。

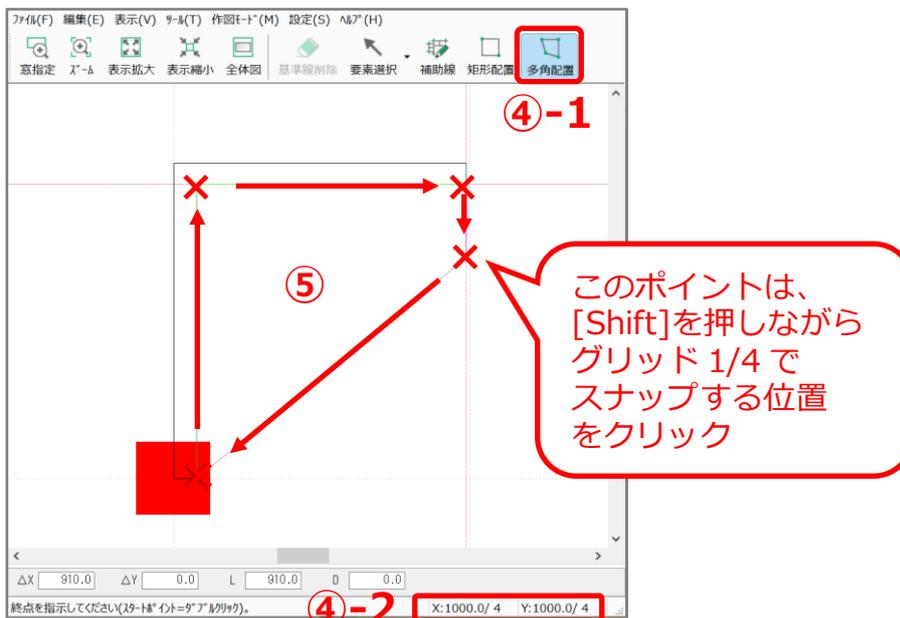


④  (多角配置)をクリックし、グリッド分割数が「1000/4」になっていることを確認

⑤ 図のように面を拡張する範囲を指定

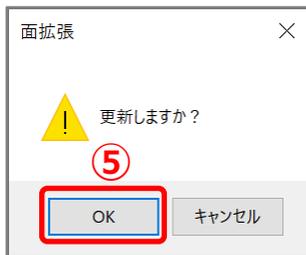
\* 下階の天井から飛び出ない範囲で入力します。

\* 「更新しますか？」とメッセージが表示されます。



## ⑤ 「OK」 をクリック

\* 選択した面が拡張し、穴が埋まります。



以上で、スキップフロアの入力は完了です。



\* 上図は、ファミリースペースの懐部分と和室の天井の部材色を変更しています。